

## 腹部エコー検査

エコー検査とは、超音波を用いて体の内部を観察する検査方法です。

腹部エコー検査については、肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓・腎臓・膀胱・前立腺・子宮・卵巣などを検査します。

脂肪肝や肝硬変、胆石、胆のうポリープ、膵炎、腎結石、膀胱炎、前立腺肥大、各臓器の腫瘍などが発見できます。

### 〈方法〉

お腹の上から超音波を発するプローブ（探触子）を腹部にあて、内臓の状態を調べます。

ベッドに横になっていただき、温めたゼリーをお腹に広く塗り、お腹をなでるように検査致しますので、痛みはありません。ご安心ください。

検査中、医師の声掛けに合わせ呼吸の調整や体の向きを変えていただきます。

ご協力よろしく願いいたします。

### 〈検査時間〉

10～15分ほどです。

### 〈メリット・デメリット〉

メリットは、エコー検査はX線検査とは違い被ばくすることはありません。胎児にも使えるほど安全で、痛みもなく手間もかからないため、簡易健康診断などで腹部を調べる際の基本的な検査として用いられる点で、広範囲に使い勝手のよい検査といえます。

デメリットは、ガスや便が腸管内に溜まっていると各臓器が見えづらくなり、膀胱に尿が溜まっていないと膀胱や前立腺の描出が不能となります。

### 〈注意点〉

○お腹を広く出して頂きますので、きつい下着やコルセットなどお腹を締め付けるものは着用せず、お腹を見せやすい服装でお越しください。

○検査当日の朝は、食事をお控えください。

○お水・透明なお茶は飲んでもかまいません。牛乳・ジュース・コーヒーなどは飲まないでください。

○お薬は通常通りお飲みください。ただし、血糖降下剤（糖尿病のお薬）は飲まないでください。

午前に検査を受ける方・・・前日の夕食は午後9時までにお済ませください。

当日の朝食は食べずにお越しください。

午後に検査を受ける方・・・当日の朝食は午前9時までにお済ませください。

昼食は食べずにお越しください。